

令和8年度 一般選抜・後期日程「理科・生物」出題意図

1

本問では、集団遺伝とメンデル遺伝という対象の異なる遺伝学の二分野にかかわる基礎知識を問うた。また、人類が抱える未解決の課題に対して適切な解を導くための「論理的な思考能力」を問うた。遺伝的浮動やハーディ・ワインベルグの法則といった基礎知識を問う一方で、問題文を正しく理解しその場で考え推論する能力も問うた。

2

生活に身近な乳製品製造にかかわる乳酸発酵と酵素反応を題材に、物質収支、タンパク質の構造や機能、膜を介した物質移動にかかわる既習の知識から発展的に生命現象を考えることができるかを問うた。また、遺伝子を扱う技術について、遺伝子の構造、遺伝情報の発現に関する既習の知識に基づいた考察力を問うとともに、生物学的考察に必要な数学的処理能力を問うた。

3

植物の成長過程について、種子の発芽から花芽形成、さらに被子植物における重複受精を伴った種子形成に至るまでの植物体内での生理作用に関する基礎知識を問うた。特に、植物ホルモンの種類やその作用機構について理解しているか評価するため、記述問題を設けることで、植物ホルモンによる発芽の仕組みや極性移動などについて、自らの言葉で順序立てて説明できるかを問うた。